



2010年3月23日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社
代表者名 社 長 有岡 雅行
コード番号 5214 東証・大証第一部
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 阿閉 正美
TEL 077(537)1700

業績予想に関するお知らせ

1. 平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)業績予想の修正

業績の進捗を踏まえ、1月27日に公表した平成22年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	325,000 ～335,000	92,500 ～97,500	85,500 ～90,500	52,500 ～55,500	105.53 ～111.56
今回修正予想(B)	333,000	99,000	92,000	55,000	110.56
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
前期実績	335,662	76,416	64,319	21,831	43.89

〈備 考〉

第4四半期(平成22年1～3月期)においては、フラットパネルディスプレイ(FPD)用ガラスの販売が堅調に推移するとともに、生産性向上によるコスト改善が進みました。

この結果、平成22年3月期の業績は、上表のとおり売上高は前期を下回るものの、利益は前期を上回るものと見込んでおります。なお、配当については本日、別に発表したとおり、期末配当を1株当たり6円とし、年間では1株当たり11円、前期に比べて1円の増配とさせていただきたく存じます。

2. 平成23年3月期 第1四半期(平成22年4月1日～6月30日)の見通し

- ・ FPD用ガラスについては、概ね第4四半期並の需要を予想しています。
- ・ その他の事業分野については、ガラスファイバなどで引き続き復調を見込んでおりますが、建築や住宅分野向けなどの回復にはなお時間を要するものと考えております。
- ・ 以上により、リーマンショック後の極端な景気減速下にあった前年同四半期と比べると、売上は50%～60%程度の増収となり、940～1,000億円を見込み、また、営業利益については200%～250%程度の増益となり、310～360億円を見込んでおります。

上記の見込み数値は、現時点での合理的な判断によるものであり、実際の業績はこれらと異なる可能性があります。

以 上